

# ファンコイル用 小型電動Vカット ボールバルブ

KITZ

## 大温度差制御に最適！ 接続口径20Aのまま、Cv値1、2の低流量制御を実現！

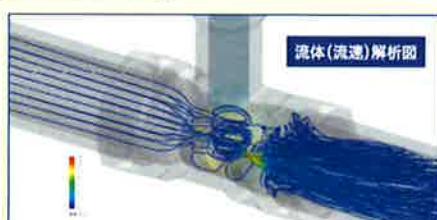
### 【作品の概要】

接続口径20Aのまま大温度差制御に適した流量調整を可能とすることで、ファインコイル空調の省エネに貢献。  
単独フローティング運転さらには、並列運動フローティング運転タイプを品揃えし、イニシャルコストの低減を実現！

### 【環境・設備デザインの解説】



### 機能性



### 評価表(自己評価)

評価項目	評価基準	評価項目に対する設計者のデザイン意図			自己評価	
		(設計者のデザインに比照して、優れていた部分、或は劣していた部分に記入して貴重なご意見ください。)	満足	やや満足	やや不満	不満
01構造	◎	複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、自己についてはまだわざと開口インジケーターが付いてない場合の想定。	◎	◎	◎	◎
02操作性	◎	手動操作(レバー操作)、旋軸式(バーベル型)にて操作することにより、上部はまっかりとしたデザインとしている。	◎	◎	◎	◎
03耐久性	◎	溝上	◎	◎	◎	◎
04耐候性	◎	溝下	◎	◎	◎	◎
05技術的実現性	☆	デザインが求められる複数のコントロールを実現し、よりよしとマイナスに仕上げた。	◎	◎	◎	◎
06技術性	☆	複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。また、手動操作(手動)により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
07実用性	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
08耐久性	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
10充電量	☆	Vカットバルブは、20A 電流で直進方向に開け、Vカット開度を実現したデザイン。	◎	◎	◎	◎
11充電回数	☆	複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
12充電時間	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
13充電装置	除外	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
14充電時間	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
15充電装置	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
16充電時間	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
17充電装置	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
18充電装置	向上	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
19充電時間	向上	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎
20LCC	☆	コスト削減のため、複数開口部でVカット形状を有するバルブを開口部を多くたれ、コスト削減のため、工具不要、レバー操作により手動操作(手動)が可能。	◎	◎	◎	◎

### 社会性

近年の空気調和設備における省エネの観点により、大温度差制御ファンコイルユニット用に専用設計・開発された小型電動ボールバルブである。

### 経済性

大温度差制御に適した流量調整を可能とすることで、ファインコイルによる空気調和設備の省エネを実現。  
さらに低騒音を実現し、配管部材への負担も軽減。  
また、接続口径20Aのままで低流量制御に対応できることにより、過渡接続用の配管部材が少なくすむこと。  
及び、並列運動フローティングタイプの品揃えにより、リレー・ボックス等を削減可能とすることで、イニシャルコストを抑制。

### 環境・設備デザインの評価

